

平成29年度第5回社会教育委員の会議

平成29年9月15日(金)

午前9時30分開会

開催日時	平成29年9月15日	開会 9時30分 閉会 11時15分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	議 長 小山田佳代 副 議 長 原田 隆司 委 員 所 夏目 委 員 石原 芳 委 員 首藤 由憲	委 員 石田 静子 委 員 城 瑞枝 委 員 長坂 寛 委 員 福井 高雄	
説明のため出席した者の職氏名	生涯学習部長 西田 剛 生涯学習課長 内田 雄介 図書館長 菊池 幸子 公民館長 林 利俊		
事務局	生涯学習係長 小堀久美子 生涯学習係主事 小佐野七香		
傍聴者人数	0名		

日程	議 題	
第 1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 正副議長の互選について (2) 小委員会委員の選出について (3) 図書館協議会への出向委員の選任について (4) 放課後子どもプラン運営委員会への出向委員の選任について (5) 平成29年度、30年度の会議開催日について (確認) (6) 第48回関東甲信越社会教育研究大会の参加について (7) 第5ブロック研修会の参加について (8) 全国大会等に参加する団体への補助金の交付について (9) 生涯学習支援センター機能について (10) その他
第 2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第34期公民館運営審議会委員の委嘱について (2) 図書館貫井北分室及び東分室の事業運営委託評価の結果について (3) 公民館貫井北分館及び東分館の事業運営委託評価の結果について (4) 「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井 (5) その他

内田生涯学習課長 おはようございます。それでは、定刻となりましたので、開会
させていただきますと思います。

私は、事務局である生涯学習課長の内田と申します。よろしくお
願いいたします。

本日、東京学芸大学の柴田委員につきましては、公務のためご欠
席ということでご連絡をいただいております。

まず、辞令の交付式から始めさせていただきますと思います。よ
ろしく願いいたします。教育長が順番に委員さんのところを回ら
せていただきますので、恐れ入りますが、お立ち上がりできる方は
立ってお受けいただければと思います。よろしく願いいたします。

(教育長から各委員へ委嘱状交付)

山本教育長 委嘱状 石田静子様。小金井市社会教育委員を委嘱する。
期間 平成29年9月9日から平成31年9月8日まで。
平成29年9月9日。小金井市教育委員会。
よろしく願いいたします。

石田委員 はい、頂戴いたします。

山本教育長 委嘱状 石原芳様。小金井市社会教育委員を委嘱する。
以下同文でございます。よろしく願いいたします。

石原委員 お願いします。

山本教育長 委嘱状 小山田佳代様。小金井市社会教育委員を委嘱する。
以下同文でございます。よろしく願いいたします。

小山田委員 お願いします。

山本教育長 委嘱状 首藤由憲様。小金井市社会教育委員を委嘱する。
以下同文でございます。よろしく願いいたします。

首藤委員 お願いします。

山本教育長 委嘱状 城瑞枝様。小金井市社会教育委員を委嘱する。
以下同文でございます。よろしくお願いいたします。

城委員 よろしくお願ひします。

山本教育長 委嘱状 長坂寛様。小金井市社会教育委員を委嘱する。
以下同文でございます。よろしくお願いいたします。

長坂委員 よろしくお願ひします。

山本教育長 委嘱状 所夏目様。小金井市社会教育委員を委嘱する。
以下同文でございます。よろしくお願いいたします。

所委員 よろしくお願ひいたします。

山本教育長 委嘱状 原田隆司様。小金井市社会教育委員を委嘱する。
以下同文でございます。よろしくお願いいたします。

原田委員 よろしくお願ひします。

山本教育長 委嘱状 福井高雄様。小金井市社会教育委員を委嘱する。
以下同文でございます。よろしくお願いいたします。

福井委員 よろしくお願ひします。

内田生涯学習課長 それでは、委嘱が終了いたしましたので、一言、教育長のほう
からご挨拶いただきたく思います。よろしくお願いいたします。

山本教育長 改めて、おはようございます。第29期の小金井市社会教育委員
という大変な重責をお引き受けいただきまして、ほんとうにありが
とうございます。

小金井市の社会教育というのは、ソフト面については、非常にレ
ベルが高いなど常々感じております。ただ、ハード面につきましては
は、ご案内のとおり、財政が非常に苦しいということで、さまざま
なご意見やご要望を市民の方や議会等からいただいておりますけ

れども、それは重大な課題として我々は受けとめて、日々対応策を練っているところでございます。特に公民館の問題、それから新しい図書館をどうするのかという問題については、さまざまなご意見をいただいているところです。

今のレベルの高い社会教育、そして生涯学習のこの質の高さを維持しながら、今後あり方について皆様のお知恵を拝借させていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

それで私、すぐ次の会議がありますので、申しわけないですが、ここで失礼させていただきます。よろしく願いいたします。

(山本教育長退席)

内田生涯学習課長 それでは、議長の選任の前に、それぞれの委員さんの自己紹介をお願いしたいと思いますので、先ほど委嘱状を交付させていただきました石田委員のほうから順番でよろしく願いいたします。

石田委員 奉仕団体として、国際ソロプチミスト東京ー小金井という団体から派遣されまして、今期で3期目でございます。

いろいろな催事をして、その収益金で小金井市の中学校にSクラブというボランティアを支援する、中学校5校全部にしていたりとか、そういう活動をしております。また、論文の募集とか、いろいろなことをしております。よろしく願いいたします。

石原委員 前原小学校PTA会長をさせていただいております石原と申します。

こういう会議に出るのが初めてなので、何かとわからない部分があるかと思いますが、いろいろお話を聞かせていただいて、こちらでも役立つことは役立たせていただき、学校からの意見などありましたら、こちらでも少しでも意見の向上のためにお話ができたかなと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

小山田委員 小山田佳代と申します。

私は、公募委員ということで、市民公募のほうでかわらせていただいているんですが、今回で3期ということで、一応最後の期となります。

ふだんは、学芸大学の中にある教育支援人材認証協会というところで青少年の活動を支援したり、あとは地域の皆様、市民の皆様の教育力を高めるべく、いろいろな活動を行っております。どうぞよろしくお願いいたします。

首藤委員

首藤由憲と申します。よろしくお願いいたします。

小金井市の体育協会から派遣されてまいりました。私は、3年ぐらい前まで普通のサラリーマンをやっていたんですが、専門ということはないんですが、経営全般を見ていた仕事をしていました。実を言うと、教育という名に近い仕事はほとんどしたことがないので、どれだけお役に立てるかわからないんですが、お引き受けした限りは全力でやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

城委員

城瑞枝と申します。

小金井市文化連盟の華道部と茶道部がありまして、華道部のほうから派遣されてきました。華道部ですので、成人式のお花を生けさせていただいたり、建物の中の市民文化祭で茶道と華道と、そちらのほうで協力させていただいたり、お月見の会、桜まつりなど、そういういろいろな行事、それから子どもたちに文化を教えようということで、茶道や華道の指導もさせていただいております。

2期目ですけれども、1期目はほんとうに何もわからず、ただ出席してついていかなければいけないというので精いっぱいでしたけれども、今後は少し自分でよく考えて行動したいなと思っております。よろしくお願いいたします。

長坂委員

長坂と申します。

小金井雑学大学というのをご存じでしょうか。そこの三代目の学長を務めている者です。今日たまたまお手許に創立20周年記念行事の「懸賞論文募集要項」を配らせていただいておりますので、その裏面に沿革やら理念などが記されておりますので、ご覧いただければ幸いです。

この大学は「市民のために生涯学習の機会を提供する」ことが理念ですので、懸賞論文の課題も「人生100年時代の生涯学習」と設定したほどです。

私と生涯学習との出会いは、役40年前に日本に大々的に紹介さ

れた頃までさかのぼります。その時期に縁があり、日本最初の生涯学習の名前を冠した財団法人設立に携わる好運に恵まれました。

それ以来、生涯学習が私のライフワークの一つになり、地元小金井において少しでもお役にたてればと望外の喜びとするところです。どうぞよろしくお願いいたします。

所委員

小金井市立緑小学校長の所と申します。

小金井市立小中学校長会から、本町小の古家校長先生の後任として参りました。新規になります。

社会教育の諸団体、それから社会教育関係の方々には、日ごろから学校教育に大変ご支援いただいているところです。私のほうからも何かお役に立てることがあればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

原田委員

公募委員の原田と申します。よろしくお願いいたします。

小金井市には、前原町ですけれども、27年居住しておりますが、サラリーマンをやっておりましたので、小金井のことは何も知らずに3年前に仕事を退職しまして、初めて小金井のことを勉強するようになりました。大変知らないことばかりなので、おもしろく過ごしている毎日でございます。

この社会教育委員は、今回2期目ということでございます。社会教育サービスを受ける立場の市民として、これからも発言をしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

福井委員

福井高雄と申します。公募市民で、1期生です。

昨年まで公民館の本館の企画実行委員を務めておまして、3期6年、並行しまして市民推進会議のほうの委員も2期4年、昨年まで担当しておりました。今年からは、委員じゃなくて、公民館及び図書館のほうで関与して携わっております。

抱負としましては、しっかりあらゆる会議等に出席しながら、社会教育の振興ということに助言等をしていながら活躍したいと思っております。よろしくお願いいたします。

内田生涯学習課長 ありがとうございます。

それでは、事務局側から自己紹介をさせていただきたいと思いま

す。

生涯学習部長の西田のほうからご挨拶をお願いいたします。

西田生涯学習部長 生涯学習部長をしております西田と申します。よろしくお願いいたします。

前期から引き続きの方はご承知のことかと思えますけれども、私も生涯学習部で所管している、生涯学習ないしは社会教育と呼ばれる分野でございますけれども、今、大変な過渡期にあるかなと思っております。いわゆる社会教育ということで、どちらかというところ、行政が用意をしたプログラムに対して市民がその享受を受けるという形から、いや、そうではない、学び合いなんだということで、生涯学習のほうに話が移行している。

その中で、逆に社会教育の役割とは何なんだろうということを再検討・再確認をしないといけないということで、国のほうでも、文科省を中心に、今そういった研究をされていると聞いております。

先ほど長坂先生のほうからもありましたけれども、市民の中でも、小金井市においては非常に活発なそういった活動がされているところでございます。こういった動き、あるいは我々が今公民館や図書館、あるいは生涯学習課のほうで展開している施策、そういったものをどのようにマッチングさせて、全体として底上げをしていくのかというようなことがこれからの課題だと思っております。いわゆるあり方といったものについて、また今期でもいろいろとご助言をいただければと思います。

と同時に、前期から引き続き検討していただいているのが、第3次小金井市生涯学習推進計画に掲げてございます、これは提言にもありましたけれども、「生涯学習センター機能の実現に向けて」ということで、ただいま、建物を建てるということではなくて、いわゆる、どのような形で生涯学習を集約化して、皆様のお役に立てていくことができるのかということをご一緒に協議しましょうということで、前期では、ホームページのほうを工夫して、何かうまく適用していくことはできないかということで、一生懸命ご助言いただき、いろいろと考えていただいたというようなところがございまして、そちらのほうも引き続きご検討方よろしくお願いいたしますと思っております。

では、2年間、よろしくお願い申し上げます。

菊池図書館長 図書館長を務めております菊池と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今年で2年目になります。図書館では現在、図書館のあり方というものを図書館協議会の皆様にご議論していただいているところでして、本年度中に答申をいただくことになっております。社会教育委員の会議の中からも推薦をいただき、協議会のメンバーに入らせていただきまして、いろいろとご協力をいただいております。どうぞ今期の方もよろしくお願いいたします。

林公民館長 公民館長をしております林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、この4月から公民館長を拝命しております。私もまだ社会教育、公民館活動、非常に奥の深いものというふうに感じておりまして、完全に理解しているところではございませんが、日々たいところでございます。

公民館につきましては、公民館運営審議会というものを所管しております。館長の諮問機関ということでございます。公運審で、ご案内の方もいらっしゃるかと思いますが、去る7月20日に答申をいただきまして、現在、館長としましては、こちらの内容を精査させていただきまして、検討させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

小堀生涯学習係長 社会教育委員の会議の事務局を担当します生涯学習係長、小堀と申します。よろしくお願いいたします。

小佐野生涯学習係主事 同じく、事務局の生涯学習課の小佐野と申します。よろしくお願い致します。

内田生涯学習課長 それでは、大変申し訳ありませんが、ここから着座のまま説明させていただきたいと思えます。

まず、正副議長の選任の前に、次第の次の1番というのをごらんいただきたいのですが、「小金井市社会教育委員の会議について」ですが、用紙をご用意させていただきました。こちらのほうに概略、社会教育委員としての身分の取り扱い、会議の概略、出張、それか

ら職務。職務については、簡単に読ませていただきますが、「社会教育法に基づき、社会教育に関し、教育委員会に助言するため、社会教育諸計画の立案、教育委員会からの諮問に応じ意見を述べること、これらに必要な研究調査、社会教育関係団体への補助金交付について意見を述べることを行う。」ということになっております。

裏面に関しましては、今後の予定などが載っておりますので、ご参考にしていただければと思います。

それでは、部長のほうから、座長をお願いいたします。

西田生涯学習部長 それでは、着座にて失礼いたします。

議長が選出されるまでの間、私のほうが座長を務めさせていただきます。これからの進行につきまして、よろしく願い申し上げます。

それでは、議事に入ります前に、議事録の作成方法について確認させていただきたいと思います。市の会議につきましては、小金井市市民参加条例第6条の規定により、原則公開となっております。そのため本会議につきましても、本日はおりませんが、傍聴人がいるということも考えられますので、ご承知おきいただきたいと思います。

また、同条例施行規則第5条には、会議録の作成方法といたしまして、全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容の要点記録の3つの中から選択することと規定しております。

本社会教育委員の会議につきましては、これまでこのうちの全文記録という形で会議録を作成してきてございます。事務局といたしましては、引き続き全文記録で会議録の作成をしたいと考えてございますけれども、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

西田生涯学習部長 ご異議がないということでございますので、先ほど申し上げたとおりにさせていただきます。

なお、議事録作成の都合上、ご発言の前にはお名前をおっしゃっていただいてからということをお願い申し上げます。

それでは、議事のほうに移らせていただきます。お手元の次第をごらんいただきたいと思います。初めに、議長の互選を行いたいと

存じます。議長につきましては、社会教育委員の会議規則第2条の規定により、委員の互選によって定めるものとされてございます。ここでは指名推選の方法で行いたいと思っておりますが、これにご異議ございますか。

(「異議なし」の声あり)

西田生涯学習部長 ご異議なしと認めます。それでは、どなたかご推薦いただけますでしょうか。挙手お願いいたします。

石田さん、どうぞ。

石田委員 3期一緒にやっております、小山田さんの力を存じ上げておりますので、議長をしていただけたらいかがかんと思っておりますが、いかがでしょう。

西田生涯学習部長 ただいま石田委員から、小山田委員をご推薦いただきました。議長に小山田委員ということで、これにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

西田生涯学習部長 では、これより先の議事進行につきましては、小山田委員のほうにお願いしたいと思います。

では、小山田委員、申しわけございませんが、議長ということでございますので、議長席のほうに移動をお願いいたします。

私の職務はこれで終了させていただきます。議事進行にご協力、ありがとうございました。

(小山田委員、議長席へ移動)

小山田議長 では、改めまして、僭越ながら議長の拝命を受けました小山田でございます。3期目ということで、私も今期が社会教育委員として最後の期になりますので、何か形に残るものがあればと、また皆様とご協力いただきながら、よい形の社会教育委員の会をつくっていきたいと思っておりますので、どうぞ皆様、よろしくお願いいたします。

(拍手)

では早速なんですが、続きまして、副議長の互選を行いたいと思うんですけども、副議長につきましても、議長同様、社会教育委員の会議規則第2条の規定ということで、委員の互選によって定めるとされているということだそうです。

どなたか立候補またはご推薦等ございますでしょうか。ございましたらよろしくお願ひいたします。

石田委員 今まで、議長が女性だと男性、男性が議長だと女性が副議長になってらっしゃいましたね。

小山田議長 ええ。ということで、では、男性の中からどなたかお願ひできますか。

内田生涯学習課長 では、事務局から、原田委員にお願ひいたします。

小山田議長 はい。事務局のほうからのご推薦もございまして、では、原田委員に副議長をお願ひしたいんですけども、皆様、よろしいでしょうか。

(拍 手)

小山田議長 では、ご異議ないということで、それでは原田委員、副議長をよろしくお願ひいたします。

(原田委員、副議長席へ移動)

小山田議長 では、まず、どうぞ一言お願ひします。

原田副議長 副議長を務めさせていただきます原田です。よろしくお願ひいたします。

社会教育法というのは昭和24年にできたということを知りまして、私と同年なんですね。今年68年目と。若いのか、年とっているのかよくわかりませんが、さっき部長が、曲がり角というか、過渡期に来ているというお話ししていましたが、

社会教育法を読んでもポイントが幾つかあって、市民が主体になる。それから、いつでも、どこでも、誰でも学べる機会を設ける。それから、さっき部長もおっしゃった、学び合えるということじゃないかなと思っていますので、それを基本に考えながらいろいろと議論していけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。
(拍手)

小山田議長 原田副議長のサポートを受けながら何とか務めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、続けて議事のほうを進めてまいりたいと思いますが、そうしますと、議題の2番になります。小委員会委員の選出についてということで、まず事務局のほうからご説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 事務局から説明いたします。

小委員会につきましては、議長、副議長及び委員3名の方、計5名にお願ひし、年5回開催をしていきます。本年度につきましては1回開催しましたので、あと4回の開催が可能となっております。

会議内容につきましては、初年度の途中から生涯学習支援センター機能についての話し合いをしておりまして、まずはできることからということで、ホームページの生涯学習情報をもっと見やすくする等について取り組んでいきたいと考えております。そのあたりを考慮していただき、メンバーの推薦をお願いしたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

小山田議長 ありがとうございます。ということで、正副議長は必ず入ることですので、原田委員と私は入ることですが、あと3名をお選ひいただきたいんですけども、いかがでしょうか。

前期は、議長、副議長と原田さんと石田さんに入っていたいていたんですけども、石田さん、いかがですか。

石田委員 昨年もさせていただきましたので、入ったほうがよければさせていただきます。

小山田議長 では、石田さん、お一人、お願いいたします。
あと2名ということなんですけれども、今日、柴田委員がお休み

なんですが、学識経験者であるということで、柴田委員も先に前期も入っていただいております、今日欠席なところでさせていただくのは恐縮なんですが、1年、柴田委員にも入っていただけたらと思うんですけども、いかがでしょうか。

原田副議長 柴田委員はご専門ですので、専門家が1人いらしたほうがよいのではないかと思います。

小山田議長 そうですね、はい。よろしければ、では、もう1年柴田委員に、よろしいでしょうか。

そうしましたら、男女比率でいくと、やはり男性の方にどなたかもう1名入っていただけたらと思うんですけども、いかがでしょうか。立候補またはご推薦をお願いします。

原田副議長 新規の方から。

小山田議長 そうですね。引き継ぎもございますので。

原田副議長 福井さん、いかがですか。

福井委員 わかりました。

小山田議長 では、よろしく願いいたします。

それでは、石田委員と柴田委員と福井委員ということで、3名、お願いいたします。ありがとうございます。

それでは、小委員会につきましては、日程等、また調整させていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

続きまして、今日はいろいろと決めなくちゃいけないことがたくさんあるようですので、次々に行きたいと思うんですけども、まず図書館協議会への出向委員の選任についてということで、こちら事務局から説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 第15期小金井市図書館協議会委員の推薦についての議題があります。資料の右上5と振ってあるんですけども、こちらの小金井市図書館協議会条例を、裏表という形で配らせていただいております。

ります。

任期は、平成29年11月1日から31年10月31日の2年間となっております。委員の身分は、当市の特別職となっております。

小金井市立図書館の適正な運営を図るために、図書館法第14条の規定に基づき設置されております。社会教育委員と兼ねていただくこととなりますので、既に社会教育委員以外の審議会委員等がされている場合は委員にはなれませんので、ご承知おきください。

これまでは、石田委員に図書館協議会委員として参加していただいております。

以上です。

小山田議長 ありがとうございます。前期は石田委員にお願いしていました。

石田委員 もしほかの方がいらっしゃらなければ、もう1期させていただきたいかなと。今、図書館から、図書館についての諮問が出ておまして、答申がまとまるころですので、よろしければもう1期させていただきたいなと、まとめたいなと思っております。

小山田議長 皆様、よろしいでしょうか。

それでは、図書館協議会への出向委員は、石田委員にお願いしたいと思えます。よろしく願いいたします。

続きまして、放課後子どもプラン運営委員会への出向委員の選任についてということで、では事務局から説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 放課後子どもプラン運営委員会委員の推薦についてとなります。こちらは、右上に6と振ってあります資料がありますが、小金井市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱というものをつけさせていただいております。

こちらは、任期が平成29年4月24日、第1回の会議開催日から約1年間になりまして、平成30年3月31日までの1年間となっております。今、ちょうど任期が半分というか、途中の状況になっておまして、こちらの会議は小山田委員に参加していただいております。

以上です。

小山田議長 そうです。私が今、現委員として出向しておりますけれども、もしほかにどなたか担当していただける方がいらっしゃるのであれば、次への引き継ぎということもありまして、お願いしたいかとは思うんですけれども、どなたかいかがでしょうか。

今、特に放課後子どもプランのほうは、ちょうど学童保育との新しい総合プランのほうのお話が出ていまして、それについて意見が交わされたりとか、そのようなことになっているところがございますけれども、毎回放課後子ども教室の現在の運営状況のご報告とかがありまして、多分コーディネーターさんとかもご出席されてということで、現状はいろいろなお話を聞くことができます。いかがでしょう。

石原委員 やらさせていただきます。

小山田議長 では、石原委員に新規でお願いします。後で引き継ぎはいたしますので、よろしく願いいたします。

石原委員 お願いします。

小山田議長 ありがとうございます。

それでは、続きまして、平成29年度、30年度の会議開催日についてということで、こちら事務局からご説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 資料の中で、右上に1、小金井市社会教育委員の会議についての裏面なんですけれども、今年度の日程ということで、4月からのもう終わった会議も含めて記載させていただいておりますが、これまでは基本的に社会教育委員の会議、皆様の予定を確認した中で、金曜日が都合がいいということでしたので、金曜日の午前中に行っておりました。

ただ、ここで29期に変わりましたので、ご予約等が変わっている方もいらっしゃるかと思いますので、そのあたりを話し合っていたきたいというところと、あと、今見ていただいている表の、順番に9月15日が今日の会議になるんですけれども、1つ飛ばして11月の三者合同会議というのがあります、こちらが第6回の社

会教育委員の会議という位置づけで、三者合同会議というのを開いております。

図書館協議会委員と、公民館運営審議会委員の三者が集まって合同で会議を行っております。こちらは例年11月ぐらいに開催されておりました、次の会議の日程につきましては、三者の正副議長が決まりましたら、こちらを中心に日程、内容等を含めて話し合ってください、ご連絡させていただくようになります。

そうしますと、残り、途中にあります1月（予定）、2月（予定）とあるんですけれども、第7回、第8回社会教育委員の会議が予定されておりました、社会教育委員の会議は、年8回予定しております、6月、9月、12月、3月の議会月を抜かした8カ月が該当月となっておりますので、今回、本来10月に開催予定でしたが、9月9日から新しい期が始まり、委員の方や大会の委員の選出等が必要になりましたので、9月に、本日開催させていただきました。ですので、あと29年度の社会教育委員の会議としては、11月の三者合同会議、1月の第7回社会教育委員の会議、2月の第8回社会教育委員の会議という形になっております。

あと、あわせて30年度の会議のことを書かせていただいておりますのは、こちらの市役所の会議室は、あまり大きい会議室がたくさんありませんので、なるべく801会議室で会議をしているんですけれども、その予約が一定期間しか受け付けられないというところがあり、あとは随時ですので、もし29年度とあわせて何曜日か都合がいい、都合が悪いとかというのがありましたら、この段階で伺っておいて、来年度の予定を決めるときの参考にさせていただきたいと思っております。

欠席されております柴田委員、学芸大学で先生をされているんですけれども、講義等の関係がありまして、都合の良い日程を事前に伺っておりますが、平成29年度後期につきましては、なかなかあいているときがなく、月曜日の午前・午後と水曜日の午前があいていて、それ以外は入っているということですので、皆さんの日程とあわせてこちらでも検討していただければと思います。

以上です。

小山田議長

ありがとうございます。柴田委員は出席が可能なのが、月曜日午前・午後と水曜日の午前ということでございますけれども、そうす

ると、あとの日程は柴田委員は厳しいということ。

小堀生涯学習係長 そうですね。授業が入っているので。

小山田議長 そうしますと、皆様はいかがでしょう、月曜日午前・午後か、または水曜日の午前ということなんですけど。どうしてもご都合が、その月にもよるかと思うんですが、定期的にこの曜日がだめということがもしございましたら、お知らせいただけたらと思うんですが。特に定期的にだめな日があったらお知らせください。

石田委員、どうぞ。

石田委員 火、木がだめなので、月、水にやっていただければ、私は大丈夫、受け付けられます。

小山田議長 それぞれまた個々のご予定は入ってくるかと思うんですが、では、また事務局と最後ご相談する形でよろしいですか。

小堀生涯学習係長 そうですね。会議室をとれるか、とれないかという関係もありますので。あとは、曜日は月か水ということでまた調整させていただきたいと思います。

福井委員 福井です。月曜日、水曜日と、曜日は問題ないんですけども、水曜日の午後は年間通してほかの予定が入ってます。

原田副議長 午前は柴田先生も大丈夫。

小山田議長 そうですね、午前は先生も大丈夫ですね。では、あとは事務局のほうで、お部屋の関係もありますので、また調整していただけていただければと思いますので、よろしくお願いします。

そうしますと、続きまして、第48回関東甲信越社会教育研究大会の参加についてということで、こちらからも事務局からご説明をお願いします。

小堀生涯学習係長 第48回関東甲信越社会教育研究大会について説明させていただきます。継続されている委員の方には、前回の会議のときに、そ

して新委員の方には、郵送でパンフレットを送らせていただきました。こちらは関東甲信越に静岡を加えた1都10県の地域の社会教育委員等が参加する大会で、内容は、記念講演、シンポジウム、分科会となります。

小金井市では、毎年2名分の費用を予算化しております。この大会は、1都10県の中で持ち回りでやっております、今年度はお配りしたとおり、静岡で開催される形になります。

大会に係る費用の主なものは、市の費用として支払うこととなりますが、細かい経費等につきましては、パンフレットと一緒に送付させていただきましたA4の用紙に記載させていただいております。

ご説明させていただきますと、大会参加費、交通費につきましては、実費相当を支払います。ほかに、日当として1日1,800円を2日分、宿泊費1万3,000円をお支払いします。こちらについては、朝食代込みの宿泊費、昼食代に当たるかと思えます。振り込み等につきましては、今後、参加が決まった後、個別にお話をさせていただきます。

参加希望、もしくは参加するかどうか考えている方は、事務局までご連絡くださいということをお伝えさせていただいておりますが、一応、本日までに2名の方、福井委員と小山田委員からお声が挙がっておりますので、そのことも踏まえて検討させていただいて、これは申し込みが、ほんとうに申しわけないんですが、本日が申し込みの締め切りになりますので、今日この場で2名の方を決めていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

小山田議長 わかりました。では、福井委員が希望されていると。

福井委員 はい、そうです。

小山田議長 私は、どなたもいらっしゃらなければということで一応挙げていたんですけれども。

では、今日、どなたに行っていただくかを決定するというので、福井委員が一応候補ということで手を挙げていただいております、あといかがでしょうか。初めての方でも、わりと代々、実はわりと新規の方にご参加していただいたりしているんですけれども。

私は、どなたもいらっしゃらなければということで、一応名前を挙げさせていたでいたということなので、もしどなたかいらっしゃるということであればあれなんですけれども、いかがでしょうか。

原田副議長　　私は、おとし参加しておもしろかったんですが、全国の方がよくわかるので、新規の方にはぜひご参加をお勧めします。

小山田議長　　そうですね。福井さんはちょうど新規ということなんですけれども。新規の方で、首藤さんいかがですか。お忙しいですか。

首藤委員　　わかりました。

小山田議長　　よろしくお願ひします。
では、今年度新規の方ということで、福井委員と首藤委員に行っていたということ、その後の委員会のときに、簡単ですけど、ご報告とかをいただいていますので、またそのときにはよろしくお願ひいたします。ありがとうございます。

小堀生涯学習係長　お二人の方は、どの宿泊先がいいとか、どの分科会に参加したいとかというのを会議が終わった後にお伺いしたいと思いますので、ちょっとだけ残っていただければと思います。よろしくお願ひします。

小山田議長　　はい、お願ひします。
それでは、続きまして、7番の第5ブロック研究会の参加についてということで、こちらをまた事務局からご説明お願ひいたします。

小堀生涯学習係長　東京都市町村社会教育委員連絡協議会、略して都市社連協と呼んでおりますが、こちらの資料は、右上に7番の印がついている資料になります。こちらの開催通知が届きましたので、説明させていただきます。

第5ブロックというのは、武蔵野市、府中市、調布市、狛江市、三鷹市と小金井市の5都市となります。今年三鷹市が会長担当市となっております。こちらのブロック会議は、例年10月か11月に会長担当市を会場とした研修会が開催されておまして、今年

10月28日土曜日の午後2時から4時45分まで、三鷹中央防災公園・元気創造プラザ4階の生涯学習センターが会場になっております。

「市町村における生涯学習の展望」をテーマとした講演会がされるということで、日本女子大学人間社会学部教育学科教授の田中雅文氏が講師ということです。講演会が終わりましたら、施設の説明及び見学があります。

研修会としては一旦そこで終了となりますが、その後懇親会が行われます。懇親会は、1人2,000円の会費が必要になります。研修会、施設見学のみ、こちらの懇親会は参加しないという形での参加ももちろん可能となります。

懇親会では、他市の社会教育委員の方と話す機会となりまして、ほかの市の状況等も伺えるので、いろいろ勉強になることもありました。今回の三鷹中央防災公園・元気創造プラザは、平成29年4月1日にオープンしたばかりのところで、多様な機能が融合した施設ということで、もし日程が合うようでしたら参加していただければと思っております。

こちらにつきましても、10月の初めが締め切りとなっておりますので、本日この会議で既に出欠が確定する場合は、今、会議の中で教えていただいて、確認しないと出欠が確認できませんという方は、申しわけありませんが、後日、今月中の間に事務局のほうにご連絡いただければと思います。

以上です。

小山田議長

ありがとうございます。来月ということで、今回、三鷹の元気創造プラザということなんですけれども、今回4階の生涯学習センターのホールのほうでというようなので、前期から生涯学習センター機能の検討ということで、いろいろ視察に行こうと言っていたんですが、その中にこちら最初候補に入っていたんですが、秋にこちらへ行くからということで、それもあって前期の視察は省いたというようないきさつもあるので、できれば皆様、ぜひ出席、ご参加いただいて、他市の様子を伺っていただけたらと思うんですけれども。

とりあえず、今行けることが決まっている方は、挙手をいただいたりしたほうがよろしいんですね。

小堀生涯学習係長　そうですね。

小山田議長　では、もう現時点で10月28日にご出席できるという方は、挙手いただいてよろしいですか。

(参加希望者挙手)

小山田議長　では、メモしていただいて。今、一応5名ですね。

小堀生涯学習係長　すいません、もう欠席されるということが決まっている方は手を挙げていただいてよろしいでしょうか。

(欠席者挙手)

小山田議長　城さん、はい。

小堀生涯学習係長　ほかの方は、また後日ご連絡いただくということで。

小山田議長　そうですね、では、後日、小堀さんのほうにご連絡をお願いします。

小堀生涯学習係長　すいません、今手を挙げていただいた5名の方は、施設等の研修会と、その後懇親会のほうもご出席かどうかも教えていただけると。

小山田議長　懇親会も参加される方は、いかがですか。
4人ですね。

小堀生涯学習係長　はい、わかりました。ありがとうございます。

小山田議長　ありがとうございました。では、またこのときにご参加される方はよろしくお願ひします。

続きまして、全国大会等に参加する団体への補助金の交付についてということで、こちらもまた事務局からご説明お願いいたします。

小堀生涯学習係長 資料ナンバー12と振ってあります全国大会参加団体への補助金交付についてをごらんください。小金井ハンドボールクラブという団体の方が、東京都少年少女ハンドボール大会で優勝し、さらに関東小学生ハンドボール大会でも優勝し、8月3日から6日まで行われた第30回全国小学生ハンドボール記念大会の出場権を獲得しました。

このたび出場した団体から、大会参加に要する費用についての補助金交付の申請がありました。社会教育法第13条の規定により、「地方公共団体が社会教育関係団体に対して補助金を交付しようとする場合は、あらかじめ社会教育委員の会議の意見を聞いて行わなければならない」とされていることから、本日ご意見を伺いたく、議題とさせていただきます。

資料の裏面には、全国大会等に参加する団体への補助金交付事務取扱基準というものを載せておりますが、こちらは、担当職員が扱うための一定の基準を定めたものであり、補助の対象経費については、大会等に参加する旅費、参加費という形になります。上限が対象経費の2分の1で、金額としては20万円が上限になっております。

資料にあるとおり、交付の目的としては、優秀な成績を収めた、優れた団体の負担を軽減し、健全な団体を育成し積極的な活動を支援するために行っているもので、この補助金制度が始まった経過といたしましては、学校などが部活動などで大きな大会に出るときに補助が出ます。それに対して、部会がなかったりしたときに、そのスポーツをやっている競技団体が全国大会等の大きな大会に出るときに同様の費用負担をしてあげたほうがいいのではないかと、うところから始まった制度となります。そういったことも考慮の上、ご意見をいただきたいと思えます。

8月3日から6日ということで、全国大会のほうも終了しております、全国大会は決勝で敗れたんですけども、準優勝ということですが。

原田副議長 準優勝。新聞にも取り上げられました。

小山田議長 もう既に試合は終わっていて、準優勝というすばらしい成績を残

していただいているということでございますけれども、この補助金の交付について何かご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

原田副議長 質問よろしいですか。今、ご説明のあった目的からすると、成績をおさめたということですから、必ず事後の申請になると考えてよろしいのでしょうか。

小堀生涯学習係長 全国大会等に参加するというのが基本なので、全国大会での成績自体はそこまで関係ないというか、もし1回戦で敗れたとしてもそれがということではなくて、あくまでも全国大会に参加するに当たって、いろんな場所でやることがあると思うんですけど、そのときの旅費であるとか、そういったものの補助が対象となります。

原田副議長 わかりました。この件の場合は、たまたま全国大会が済んでいるので過去になっているけれども、これから全国大会に出るよという人たちも対象になるということですね。

小堀生涯学習係長 そうですね、はい。

原田副議長 準優勝ですから、条件としても問題ないと思います。

西田生涯学習部長 ごめんなさい、ちょっと誤解があるので。全国大会で準優勝だったからということを出すわけではありませんので。その4番のところに「大会等の規模」ということで書いてありますように、全国大会等の参加資格を得れば申請の資格があるということで、ご理解いただきたいと。

原田副議長 はい、よくわかりました。

小山田議長 では、特に異議がないということであれば、こちらの交付については皆様、ご承認いただけるということではよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

小山田議長 ありがとうございました。

それでは、議題としまして9番になりますが、生涯学習支援センター機能についてということで、では、こちらもまた事務局からご説明お願いいたします。

小堀生涯学習係長 まず、資料の右上に9番と振ってあります「第28期小金井市社会教育委員の会議 2年間の検討内容」というものがございまして、こちらは第28期、前期の社会教育委員の会議で、2年間の間に検討した内容を記載したものです。第28期の委員の方たちは、第3次生涯学習推進計画の策定途中に期が始まった関係で、最初の半年間は、第27期の方の検討内容を踏まえて計画を完成させるというところまでをメインに会議を行いました。

その後、地域や学校のかかわり方、学校は地域に何を求めているか、そして社会教育委員の役割としてできることは何かを考える中で、コミュニティスクールを計画し、コミュニティスクールにかかわる方々のこれまでの努力や苦勞、そして地域の力の大切さを勉強させていただきました。

次に、資料ナンバー10の「答申・提言等」というものがあるんですけども、こちらはこれまで社会教育委員の会議等で提言を出したもので、10番の裏面を見ていただきますと、一番最後に平成25年8月「「小金井市生涯学習支援センター機能」の実現に向けて（提言）」というものが出されたことが書いております。こちらにつきましては、生涯学習活動を支援する情報ネットワークの整備や、市民等の協働による生涯学習を実現するには、その中心となる生涯学習を支援するセンター機能が必要と考えますということが記載されておまして、さらに生涯学習支援センターには次の支援が必要ということで、1から4まで書かれております。

ちょっと長いのですが、1、さまざまに分散している学習情報、スポーツ情報、各種学習団体情報、行政・教職間の情報等を集約し整理して、最新の情報の共有化を図り、それを必要とする市民・団体に提供する機能。2、市民・団体の多彩な学習活動を継続的に支援して、その結果を地域社会に還元する機能。3、生涯学習を通じて、家庭・地域・学校等の連携を図り、市民・団体間の出会いと交流を支援する機能。4、市民・団体及び行政との協働によるまちづくりを生涯学習の面から支援する機能が必要とされております。

今年の5月に埼玉県狭山市に前期の方々と視察研修に伺わせていただきまして、狭山市さんでは、NPO法人さやま生涯学習をすすめる市民の会が市から委託を受けて、市民に生涯学習の情報を案内する生涯学習情報コーナーというものを運営されていました。その研修では、NPO法人の方が、生涯学習の担当の市役所の職員の方から話を伺い、施設を見学させていただきました。また、さやまなびいネットという狭山市生涯学習情報検索システムについても教えていただきました。

研修等を含めて、小金井市では何ができるかということを検討している中で、狭山市のさやまなびいネットのように独立した形のものをつくることができるという意見もありましたが、予算や人員等の問題もありまして、まずはできることから始めたらどうかという意見をいただき、今の小金井市のホームページの中で生涯学習情報コーナーのような場所をつくり、集められる情報から事務局が掲載していくということで進めていく方向で前回の会議を終えたところです。

市のホームページの中で、見やすいものをつくっていくために、ホームページの担当課との調整とか、どの情報を載せていくか等、市役所の中でもまだ話し合わなければいけないこともありますので、少しお時間をいただき、ちょっと先なんですけれども、次回の会議までに何回か小委員会を開催させていただいて、ご相談させていただければと思っております。

以上です。

小山田議長

ありがとうございます。この生涯学習センター機能についてという、こちらが前期からの継続の検討事項ということで、わりと大きい議題として前期も検討しておりました。

それで、第3次計画というのは、前期の方はお持ちで、新規の方もこちらのほうを見ていただけたらと思うんですけれども、こちらのほうに、実はこの策定がちょうど私と石田委員が最初に入った期が、入ったときにこれがすぐ策定だったんですよ。その年は、もうこれだけしか話してないぐらいな、毎回この検討で1期は終わってしまったという感じだったんですけれども、その次の期でちょうど最後、あと最後というところで引き継ぎがありまして、完成されたということになるんですけれども。

では、この中でいろんな重点プロジェクトというところで、最初のほうに幾つか第3次重点で考えていこうという項目を挙げさせていただいて、検討していくということになっていたんですが、その中で生涯学習センター機能ということで、先ほど教育長からもお話がありましたが、ソフト面は、小金井市は非常にすばらしい社会教育の資源が豊富なんですけれども、ハード面はというところで、なかなか生涯学習センターというのを、市民も切望しているんですけども、予算的な問題ですとかいろいろな問題で、まだまだいつになるかは実際わからないという状況の中で、でも生涯学習支援センターの機能ということでは、何か別にハードなものなくてもできるのではないだろうかということで、何ができるだろうということから検討を前期はしていたんですけども。

その中で、前期は、先ほどもご説明がありました狭山市の生涯学習センターのほうに視察に伺いまして、NPO法人が委託を受けて運営しているんですが、ホームページにさやまなびいネットというサイトがありまして、そこにも生涯学習の情報がまとまったものがあったということで、それがとても検索しやすいもので、前期の委員のほうでもそちらを参考にいろいろ検討していこうということになっておりました。

そのほかにも、ほかの生涯学習センターでも、ホームページのほうで情報を集約しているというところがありまして、それであればハードがなくても何かできるのではないかと。また、小金井のほうもほんとうにさまざまな活動を、市民の活動及び社会教育活動をされているので、ですが、どこに行けば全部のことがわかるだろうかというようなことも課題としてあるということで、この生涯学習支援センター機能で、ホームページを何とか検討できたらいいんじゃないかというようなことで、前期の最後は、まずはできるところからと。完成形を目指すと、それはまだ果てしないことがあって、それこそ予算的な問題もあるので。ただ、今でもすぐできることで、いつでも、どこでも、誰もがアクセスできるものを目指して始めていこうということで、前期は話が終わりました。

具体的などころで、前期は、参考でこういうページだとか、市民の団体からこういう情報をもらえたらというような、フォーマットみたいなものを今後検討していこうということで最後はちょっと上がっていたんですけども、今期もこの内容実現に向けて、今日

は話だけになると思うんですけれども、皆さんのどういったホームページ、どういった内容がよいかというようなことも、今期の新規の方もまた新しい目で見えていただいて、ご意見をいただけたらと思います。

今、小金井市のホームページもごらんいただいていると思うんですけれども、皆さんに少しご意見をいただいて、また小委員会でもこの件をもう少し具体的に詰めていくようになるかと思っております。

前期からの引き継ぎとしては、原田委員、こんな感じでよろしいですか。

原田副議長 はい。

小山田議長 今後どういうふうに、どんなものを目指すかというところでご意見がございましたらいただけたらと思うんですけれども、いかがでしょうか。

さやまなびいネットは、またおうちでもホームページを見ていただけると、いろんなことがまとまっているんですけれども。

原田副議長 ちょっと前期からの引き継ぎで。生涯学習支援センター機能という、今のお話にもあったように、あたかも支援センターという建物をイメージしちゃうことがあるんですが、それではないと。小金井市においてこの議論をしているのは、あくまでも機能ということで、生涯学習を支援するためのセンター的な機能を持とうじゃないか。

それにはいろいろあると思うんですが、当然ながら、市役所の窓口とか公民館にいて、物理的に人間が支援するというものはありますけれども、前期の議論の中では、まずはホームページの中で、自宅でも検索して使えるようなものがないんじゃないかというような。当然その中には、そうはいつでもインターネットを使えない人たちはどうするんだという議論もあったんですが、そういうホームページをつくっておけば、例えば公民館の窓口でも、それを使って相談に来た方にいろいろな情報を示すことができるんじゃないかということで、まずできるところからということでホームページの改善を手がけてみようと、こういうことになったというのが現時点

と考えてよろしいかと思えます。

小山田議長 ありがとうございます。前期からということで、石田委員のほうからは何か補足というか、ございますか。

石田委員 やはり手近なところから、建物ではなくて、手近なものからともかく始めるということが大事であって、身近にできるところということで、生涯学習課のほうでホームページができる体制づくりを少しずつ取り組んでくださいましたので、またこれから示されていくと思いますが、まだほんとうに計画の段階で、こんなではどうでしょうかという案を示してくださっていましたので、そういうことをこれから検討していったら、実現化できることがいいのではないかなと思っています。

小山田議長 城さん、前期から。補足というか何かございますか。

城委員 私も狭山市のホームページを見させていただいて、小金井市もこういうふうにとんどもつながっていけばいいなと思っていましたので、少しずつこれからホームページの中でそういうふうには反映されていけば、皆さんも使いやすいのではないかなと思いますので、ぜひこの期で立ち上げたいなと思います。

小山田議長 ありがとうございます。
では、一言ずつ、新規の方もご意見をいただけたらと思いますので、所委員、よろしいでしょうか。

所委員 今お話を伺って、センター機能をハードを使わずに充実させていくという、そのホームページの充実という面ではいい方向かなと思っています。どういうフォーマットを今考えられていて、今までのご意見をもとにどう改善案が出ているのかがちょっと今の段階ではわからないので何も申し上げられないですけれども、あまり階層が深くなり過ぎず、いろいろな施設・団体にアクセスできるようなものがあれば、非常に使いやすいのではないかと思いました。

小山田議長 では、福井委員、いかがでしょうか。

福井委員 生涯学習支援センターという言葉のとおり、市内全域の方がしっかり生涯学習ということを確認してもらうことが先決だと思うんですね。その後、ホームページにつながってくると思います。基本的には、ホームページに載せるということ自体は、情報発信と書かれているように、生涯学習の施設等を含めた、利便性も含めた情報のネットワークにつながってくると思います。

したがって、とりあえず生涯学習とは何ぞやというところからホームページはスタートして、市民が最大限利用する利便性の項目につながるような情報をネットワークにつないでいただければと思います。

小山田議長 ありがとうございます。
では、首藤委員、お願いいたします。

首藤委員 申しわけありません、私自身がホームページをまだよく見てないのでわからないところがあるんですが、ちょっと位置づけの質問なんですが、この委員会である方向性みたいなものを提言して、それを実際にアクションするのは、市のほうでやるわけですよ。で、今度、市の中で検討されるのか、また、市からどこか専門のところに、ある方針に基づいて企画してくれということを出して実行されていくのかというのは、どういう段取りになるのでしょうか。

内田生涯学習課長 基本的には皆様にお話しいただいた内容を受けまして、こちらで、生涯学習課でできるようなことであればその場で対処させていただきますし、セクションがございますので、そこら辺で調整しないといけないものであれば調整させていただいた上で、その結果を次回にご報告させていただいて、また改めてもんでいただいて、よりよい方向に持っていくという形になってくるのかなと思います。

首藤委員 それは、いつからいつまでに、どういうスケジュールで遂行するというものは、何かあるんですか。

西田生涯学習部長 どちらかというと、キャッチボールでやっていきたいと思っています。したがって、できるものからどんどんやっていくとい

うことで、ある一定の区切りみたいなものは、最終的には見ながらやっていかないと、いつまでに何をやって先に決めてしまいますと、それまでにやるのが逆に限定されていって、そこに集中していくというやり方が果たして正しいのかどうかという、ちょっと私の中でも悩みがありまして、それよりは、前期の委員さんの中で、できるところからやっっていこうという話があったので、それをキャッチボールしながらやっっていく中で、逆に今期はどの辺までできそうかなという感触をみんなで持っていた中でまとめていったほうが、むしろ先に目標をつくってしまっても果たしてできるかどうかというところが今わからない、皆目見当がつかない中で、先にスケジュール感を出してしまうと、難しい面も実はあるのかなと思っています。

したがって、まずやってみて、その中で、今期できるものほどこまでだろうというのを、早い段階のうちに決めていければいいかなと思っています。スケジュールありきではあまり進まないのかなと思います。

小山田議長

ということなのですが、前期の最後のお話では、社会教育団体の登録をまた4月に新たにもう一度募るということなので、そのときにホームページに出せるようなフォーマットとかを検討して、それで社会教育団体にそこに書いていただいて、まずそういったところからホームページへ上げていただくと。そのホームページも、新たにつくるのではなくて、現在、市の生涯学習課のホームページがあって、そこから入れるようなもの、なので、まずあるもので、できるところからということであればよいのかなということが、前期の最後では出ておりました。

フォーマットとか素案を前期、事務局からご提案いただいていたんですけども、今日はいきなりということがありまして、今後、そういった具体的なものをもう一度出していただいたりとか、あと次回までに、小委員会のほうでももう少し検討を進めて、委員会のほうで皆様にお諮りいただけるような内容にして、こちらでご検討いただけたらと思います。

あと、今度の委員会になると思うんですが、実際ホームページに出すに当たって、先ほど福井委員から、生涯学習とは何ぞやというお話からというお話もあったんですけども、前期のほうでも、小

金井市の社会教育委員会として、どういうものを生涯学習のこのホームページに出していくんだらうということも、今いろんな団体があり、いろんな活動があるので、そういったある一定の基準はまたどこかで一度話し合うお時間をいただけたらと思っております。

石原委員、ご意見よろしく申し上げます。

石原委員

私も初めてこういう会議なので、あまり意見は言えないかなと思ったんですけど、ホームページをよくしていくということでお話をいただいて、すごくいいことかなと。やっぱりできるところからやってみて、やった結果を今度自分たちで使ってみて、それがどう活用できるのか、悪いところはどこなのか、こちらで1回見てから市のほうに戻して行って、またいいものをというふうにしていかなきゃいけないのかなというのと、でも、あまり突き進み過ぎると逆に使いにくくなってしまうというところがあると思うので、そういったところも考えながら一つ一つ進めていけたらいいのかなと思っております。

小山田議長

ありがとうございます。

皆様からご意見をいただきまして、今日はこのぐらいの検討で、また次回、小委員会ですさらに深く具体を、次の委員会のときにはご意見いただけるようにしたいと思いますので、これは継続で、今期の最大の課題だと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは次、その他ということですが、その他で何かございませうでしょうか。

特になければ、報告事項のほうに移りたいと思います。まず、報告事項の1つ目が、第34期公民館運営審議会委員の委嘱についてということで、公民館長のほうからお願いいたします。

林公民館長

第34期公民館運営審議会委員の委嘱について、ご報告させていただきます。資料11をごらんください。

資料のとおり、委員定数10名のうち、9名の委員の選定を行いました。経過につきましては、各団体・機関等が推薦依頼をしまして、7名の委員を選出しております。また、公募委員3名につきましては、市報及びホームページに公募いたしまして、一次選考及び二次選考を経まして2名を選出しております。選考の結果、現

在1名欠員となっておりますが、その後、再度、市報・ホームページで公募を行いました。現在選考を進めていまして1名を選出する予定でございます。平成29年8月24日開催の平成29年第9回小金井市教育委員会定例会で9名の委嘱につきましてご議決をいただきました。この9名の委員につきましては、新任の方が4名、再任の方が5名となっております。また男女比は、男性7名、女性2名。平均年齢は63.1歳でございます。去る9月12日に開催いたしました第34期の第1回の公運審におきまして、委員長に國分ひろみ委員、副委員長に渡邊恭秀委員を選出してございます。

以上、雑駁ですがご報告といたします。

小山田議長

ありがとうございました。何かご質問等ございますか。

では、続きまして2番、図書館貫井北分室及び東分室の事業運営委託評価の結果についてということで、図書館長のほうからご報告お願いいたします。

菊池図書館長

口頭でご報告をさせていただきます。図書館の貫井北分室、東分室でございますが、事業運営をNPO法人市民の図書館・公民館こがねいに委託しておりますことから、このたび事業運営委託評価を行いましたので、その結果をご報告させていただきます。

評価目的でございますが、委託館の事業運営を仕様書の内容に基づきチェックすることによって、委託館の事業運営が適切になされているかを把握することにございます。図書館貫井北分室は、平成26年度と27年度に実施しておりますが、平成27年8月から委託を開始しました東分室につきましては、今回が初めての評価となりました。

評価方法は、過去2回と同様に、仕様書に基づいた評価票を用いまして、評価者は、受託者であるNPO法人、委託者である市の図書館、図書館協議会の三者で行いました。図書館協議会の皆様には、8月17日に、貫井北分室と東分室にて受託者・委託者の評価結果と来館者アンケートの結果を参考資料としていただき、受託者の質疑等を行いながら評価を実施していただいたところです。

評価結果でございますが、受託者・委託者・図書館協議会ともに総合評価はAということで、仕様書の水準どおり、期待どおりの適正な運営がなされているという結果でございました。

7月5日から26日まで委託館の来館者アンケートを実施しております。その結果は、満足、やや満足と回答いただいた方は、貫井北分室で約79%、東分室は約66%でございました。

評価結果及び来館者アンケートにつきましては、市のホームページ、図書館ホームページに掲載してございますので、そちらをごらんいただきたいと思っております。

報告は以上になります。

小山田議長

ありがとうございました。何かご質問等ございますか。

それでは、ないようでしたら、続いて3番、公民館貫井北分館及び東分館の事業運営委託評価の結果についてということで、こちらは公民館長のほうからお願いいたします。

林公民館長

公民館貫井北分館及び東分館につきまして、事業運営を委託しておりますNPO法人市民の図書館・公民館こがねいの事業運営委託に係る評価を行いましたので、その結果を口頭にて報告させていただきます。

評価目的は、委託館の事業運営を仕様書の内容に基づきチェックすることによりまして、委託館の事業運営が適切に行われているかを把握するというものでございます。

公民館貫井北分館につきましては、平成26年度と27年度に評価を実施しておりますが、平成27年8月から委託を開始した公民館東分館は、今回が初めての評価となりました。

評価方法は、過去2回と同様に、仕様書に基づいた評価票を用い、評価者は受託者であるNPO法人、委託者である市の公民館及び公民館運営審議会で行いました。公民館運営審議会の皆様には、受託者・委託者の評価結果と利用者アンケートの調査結果を参考に、8月上旬から中旬までの間に現場でヒアリング調査を行うなどして評価いただきました。

評価結果でございますが、受託者・委託者・公民館運営審議会ともに総合評価はAということで、仕様書の水準どおり、期待どおりの適正な運営が行われているという結果でございました。

また、平成29年7月5日から26日まで実施いたしました委託館の利用者アンケートの結果では、大変満足している、満足していると回答いただいた方は、貫井北分館で100%、東分館につつま

して約90%でございました。

評価結果及び利用者アンケートにつきましては、市ホームページに掲載してございますので、詳細につきましてはそちらをごらんください。

報告は以上でございます。

小山田議長

ありがとうございました。ご質問等ございますか。

では、ないようでしたら、続きまして、「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井ということで、チラシがございまして、こちらを出していただければと思うんですが、この詳細については石田委員からご説明をお願いします。

石田委員

9月24日、学芸大学のS棟とN棟を使って、「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井が催されます。これはPTA連合会も協力していただいて、夏休みの生徒作品、いろんな作品がありますので、それを各校10個ずつ提出していただいて、それに対して学芸大学の学長、市長が全部評価をつけて、大会会長賞、学芸大学長賞とか、開会式9時半からの当日に発表し表彰されます。

ということで、ブースが100以上出まして、いろんな子供たちに実験をするようにしております。私たちの社会教育委員の会議は20番です。

S棟の1階です。前期の委員でフレキサゴンの準備をもうしてあります。そして、当日ぜひ来てお手伝いしていただきたいのと、それから、科学の祭典がどのように皆さんが参加しているかということも見ていただけたらいいなと思っています。このナンバーがブースナンバーになっておりますので、当日、総合受付のところで張り出されると思います。

小山田議長

基本的に、今期始まったばかりですので、前日の準備と24日当日の午前午後、シフトを前期の委員で組んでいまして、前期の委員が担当してやるんですけれども、また来年度もありますし、今後のこともあるので、今回新しく委員に入られた方も、お好きな時間に、24日ずっと朝から夕方もやっておりますので、ちょっと見学兼お手伝いということで来ていただけたらと思います。もしお時間があればということでお願いしたいと思います。

石田委員 公民館は今年参加していますか。

林公民館長 します。56番「昔遊びの科学」というブースを予定しております。

石田委員 科学の祭典は、昨年が7,700人で、その前の年が1万人を超えて、今年は何人になるかなという感じです。

西田生涯学習部長 昨年は、午前中、結構ひどい雨で降りまして、出足がちょっと鈍ったということで7,000人台になりましたけれど、通例やっぱり1万人前後来ます。

広さはちゃんと科学の祭典の広さを確保しているんですが、隣で防災訓練を午前中やっていますので、そちらのほうからの人の流れもあるかなと思っています。ちょっと増えるかもしれないです。

小山田議長 新しい方はぜひ遊びにというか、お手伝い兼遊びに来てください。では最後、その他ということになりますが、その他で何かご報告事項ございますでしょうか。

林公民館長 公民館中長期計画の策定につきまして、口頭によりご報告させていただきます。

去る7月20日に公民館運営審議会から、公民館中長期計画の策定について、公民館長宛てに答申いただいたところでございます。今後、中長期計画の策定を行うこととなりますが、現在、答申を精査して、内容を受けとめながら、まずは大きく、新しい時代の社会教育活動とは何かということ、そして公民館のあり方がどうなるのか、何を目指していくのかといった、策定に当たりましての市の考え方をまとめたあり方について、10月中をめどに現在行っているところでございます。今後につきましては、また適宜、本会議におきましてご報告、情報提供等をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

小山田議長 ありがとうございました。

そのほか何かございますでしょうか。

小堀生涯学習係長 資料として第4回の会議で配付させていただいた第3次生涯学習推進計画の平成28年度評価について、新任委員の方だけに配付させていただいております。番号等振ってないんですけど、第3次生涯学習推進計画と重点プロジェクト評価方法というのが左上にあります。その後、評価が続いていく用紙なんですけれども、こちらにつきましては、第3次の生涯学習推進計画が平成28年度から32年度までとしておりますので、今回平成28年度分が初めての評価となっております。社会教育委員の会議の中で評価方法等についてご意見をいただきまして、計画の中にあります重点プロジェクトについてのみの評価を行いました。前回の会議にお配りしたものですので、もう一度、今回新任の方にお配りさせていただいて、見ていただければと思います。

以上です。

西田生涯学習部長 参考送付という位置づけだそうでございますので、ごらんいただきたいということでございます。もうご意見等は前期受け取っておりますので、申しわけありませんが、そういう形でお願いします。

小山田議長 ありがとうございます。

石田委員 科学の祭典で、車で行かれる方いらっしゃるんですか。駐車票と学校に入る入校票が必要になります。もし必要でしたら、小堀さんのほうに全部資料を送りますので、ダウンロードして車のナンバー書いてあれしてください。ただ、夕方まで、4時半過ぎまで出せませんので。

小山田議長 何かございますでしょうか。大丈夫ですか。部長から何かございますか。

西田生涯学習部長 これからまた任期の間よろしくお願ひしたいと思います。